

Capo. 2

(Bm)

断崖

★ ^{An}断崖下の浪打ち際、^G続く日本海見下ろす^{An}

訪れる人も少ない、^G穏やかで、^{An}晴れた日なのに
☆☆

^{An}誰もいなかった^{Dm}市振駅^Gから^C

^{An}昔の面影^{Dm}残した^G町を^C過ぎて

幻子抱いた伝説の人か

歩いたはずの海岸線が見える

^C慕う^{Dm}人に^G会える^Cためなら

^Cこし^{Dm}と^Gろ^Cでも^G歩いて^Cゆける

先うものがあまりに大き...

通る前にはわからなかったのだろう

1-マレ

* 人との闘いの名残も愛のおとの遊歩道で

歴史物語る自然の奥深さに足も止める**

歩くための道ではなくて

通過するだけの国道と高専

新幹線も通ることない

昔の人は想像さえなかったろう

今の時代に生きてたなら

悲しい思いいなくて済んだらう

後ろ髪を引かれよう

ほのかに光る波枕を見つめる